

第3章

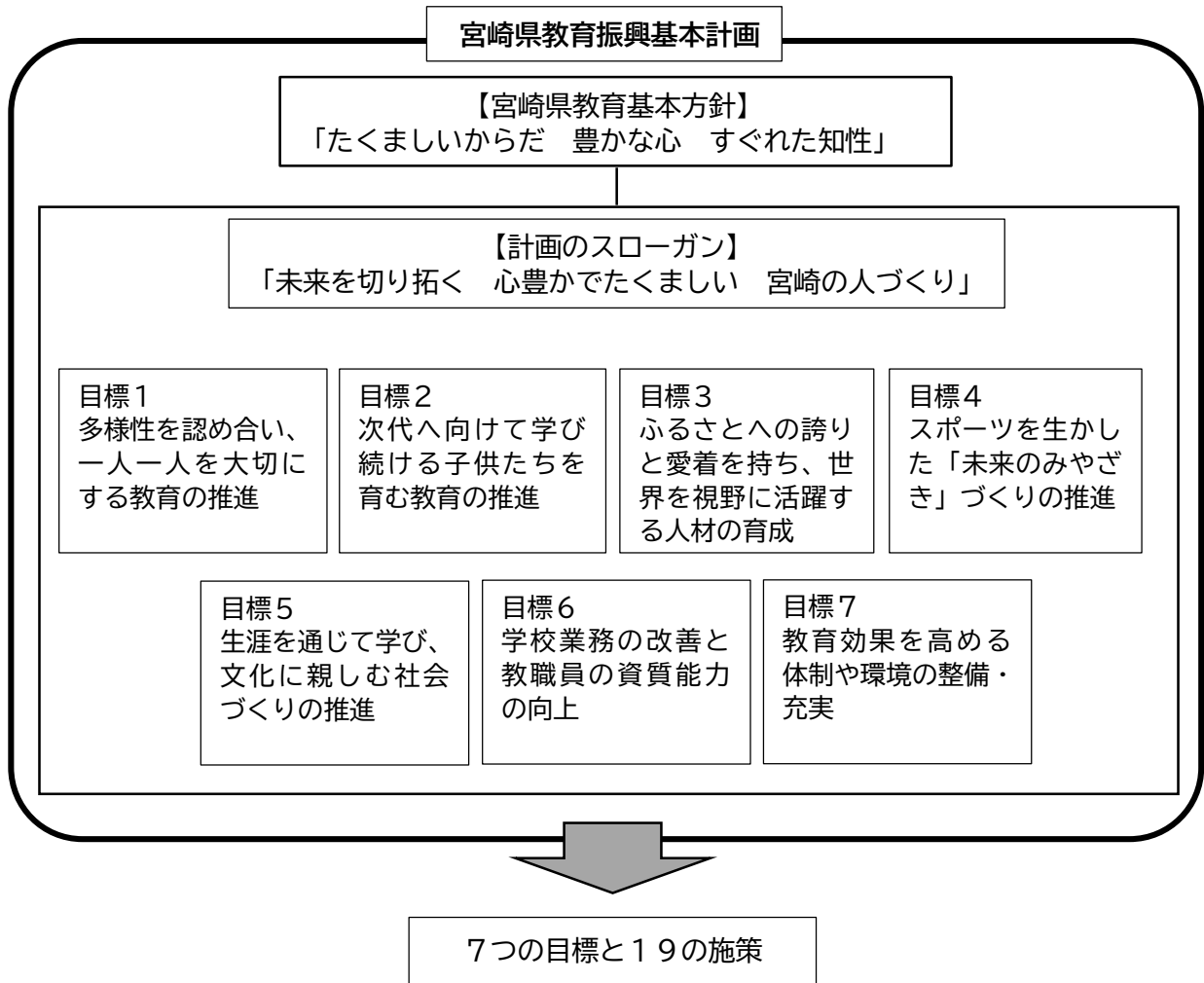
宮崎県教育振興基本計画
(宮崎県スポーツ推進計画)

・

宮崎県スポーツ推進審議会

宮崎県教育振興基本計画（令和5年策定）におけるスポーツの推進

1 計画の全体像



2 目標4「スポーツを生かした「未来のみやざき」づくりの推進

施策10「幅広い世代でのスポーツの推進」

(1) 課題及び今後の方向性

- 運動・スポーツを週1以上行っている県民の割合は上昇傾向にありますが、スポーツ参画人口の拡大に向け、日常生活の中で運動やスポーツをする機会を提供する必要があります。
- 県民誰もがスポーツを楽しむことができる環境を整えるため、年齢や性別、障がいの有無等にかかわらずスポーツを実施できるよう、市町村やスポーツ関係団体と連携して取り組むことが大切です。
- スポーツによる地域活性化については、充実したスポーツ施設やスポーツキャンプ、合宿等の受入ノウハウの蓄積等により、これまで着実に成果を上げていますが、スポーツランドみやざきの更なる魅力向上に向けた取組が求められています。
- 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会に向け、宮崎県競技力向上基本計画及び第26回全国障害者スポーツ大会に向けた選手等活躍支援計画に基づいた取組を進めています。

(2) 施策の内容と取組

1 多様な主体によるスポーツの推進

- 誰もが身近な地域でスポーツを楽しむ機会の創出
- スポーツネットワーク体制の強化
- スポーツを支える人材の育成

2 共生社会の実現に向けたスポーツの推進

- 障がい者を対象としたスポーツ活動の充実
- 障がい者スポーツ指導者の育成
- 障がいのある人とない人が「ともに」行うスポーツの推進

3 スポーツによる地域活性化

- スポーツによる地域経済の活性化
- スポーツ環境の整備

4 国スポ・障スポ大会に向けた競技力向上

- 推進体制の整備・充実
- 選手の発掘・育成・強化
- 指導体制の充実・強化
- 環境条件の整備

施策 1.1 「児童生徒の健やかな体を育む体力・健康づくりの推進」

(1) 課題及び今後の方向性

- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査（令和4年度）によると、「平均値が全国平均以上の調査項目の割合」はおおむね良好な結果を示していますが、全体的には体力低下の傾向にあります。
- 生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続するための資質と能力を育成するため、学校における体育・スポーツ活動に係る取組の充実を図る必要があります。
- 児童生徒を取り巻く健康に関する問題は、心の健康や性に関するものなど複雑化・多様化しています。また、食生活の変化に起因する児童生徒の健康課題も少なくない状況にあります。
- 生涯にわたって主体的に健康な生活を送ることができるよう、家庭や地域、関係機関などと連携しながら学校における健康教育及び食育の充実を図ることが必要です。

(2) 施策の内容と取組

1 学校体育の推進

- 体育・保健体育の授業の充実
- 学校における体力づくりの推進
- 運動部活動の適切な運営

2 健康教育・食育の推進

- 健康教育の推進
- 食育の推進

3 施策の内容と主な取組

1 多様な主体によるスポーツの推進

内 容

「1130県民運動」や各種大会の開催・支援など、様々な形でスポーツへの参加を促します。また、総合型地域スポーツクラブの育成・支援や、スポーツを支える人材の育成を図り、年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず、誰もが身近な地域でスポーツをする環境を整備します。

主な取組

- 誰もが身近な地域でスポーツを楽しむ機会の創出
 - ・ 「1130県民運動」による「1130体操」や「SALKO」の普及・啓発を図るとともに、市町村やスポーツ関係団体と連携し、県民総合スポーツ祭や各種スポーツ教室等を開催するなど、県民のスポーツ実施率の向上に取り組みます。
 - ・ 運動・スポーツに親しむ子供たちを育成するため、指導者を対象とした研修会等を開催するとともに、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団等におけるスポーツ機会の充実に向けた取組を支援します。
 - ・ スポーツ実施率が低い傾向にある、働く世代や子育て世代、女性を中心に、年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず、県民誰もが楽しむことができる地域スポーツの取組を支援し、スポーツによる健康増進、生きがいづくりを推進します。
 - ・ 宮崎ねりんピックをはじめとする、高齢者が自主的に取り組むスポーツイベントを支援します。
- スポーツネットワーク体制の強化
 - ・ 県民がスポーツに興味・関心を持ち、スポーツの習慣化につながるよう、市町村や福祉・医療の関係機関等と連携し、魅力あるスポーツ関連事業を展開できる環境づくりを進めます。
 - ・ 総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の効果的な運用を目指し、中間支援組織の取組を支援するとともに、地域におけるスポーツ環境の持続的な発展に向け、市町村と連携して登録クラブの質的充実を促進します。
- スポーツを支える人材の育成
 - ・ 総合型地域スポーツクラブのスタッフ等を対象とした研修会の開催や先進県への派遣を通して、スポーツ参画人口の拡大に努める人材の育成を支援します。
 - ・ 地域スポーツのコーディネーターとしての役割が期待される市町村スポーツ推進委員の資質向上を目的とした研修会等の開催を支援します。
 - ・ 地域住民の多様なニーズに応えられる指導者やボランティア、公認スポーツ指導者等の養成・確保に向けた研修会等を実施します。

2 共生社会の実現に向けたスポーツの推進

内 容

障がい者スポーツを推進するため、障がい者スポーツ指導員やスポーツ推進委員等との連携を図りながら、各種スポーツ活動の充実や指導者の育成を図るとともに、障がいの有無等にかかわらず、様々な立場・状況の人と「ともに」スポーツを楽しめる環境を整備し、スポーツによる共生社会の実現を目指します。

主な取組

- 障がい者を対象としたスポーツ活動の充実
 - ・ 県障がい者スポーツ大会の開催及び全国障害者スポーツ大会への選手派遣を通して、障がい者を対象にスポーツの普及を図るとともに、スポーツ関係団体が行う障がい者スポーツに関する取組を支援します。
 - ・ 障がい者スポーツの普及・定着のために、市町村や障がい者スポーツ指導員、競技団体、福祉施設職員等と連携し、障がい者スポーツ大会及び各種教室を計画的に開催します。
- 障がい者スポーツ指導者の育成
 - ・ 障がい者スポーツ初級指導者養成を行い、宮崎県障がい者スポーツ指導者協議会の活動を支援するなど、人材の育成に取り組むとともに、障がい者スポーツ指導者の派遣を推進します。
 - ・ 各種障がい者スポーツ大会や研修会へ指導者を派遣し、全国大会や九州大会の参加経験が豊富な指導者と情報共有や研修内容の伝達講習等を通じて、障がい者スポーツ指導者の資質向上を図ります。

- 障がいのある人とない人が「ともに」行うスポーツの推進
 - ・ 総合型地域スポーツクラブにおいて、障がいのある人とない人がともにスポーツをすることができるメニューの新設に関する取組を推進します。
 - ・ 年齢や性別、障がいの有無等にかかわらず、誰もが身近な地域で参加できるスポーツ教室の開催に関する取組を推進します。

3 スポーツによる地域活性化

内 容

本県が長年取り組み、本県観光の強みとなっている「スポーツランドみやぎ」をさらに推進するため、ブランド力の向上をはじめ、キャンプ・合宿・イベントの全県化・通年化・多様化や、本県ならではのスポーツツーリズムの推進、国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の本県開催を契機とした地域スポーツの振興などにより、地域の活性化を図ります。

主な取組

- スポーツによる地域経済の活性化
 - ・ 国内外代表チームやプロチームのスポーツキャンプ・合宿の誘致及び国際的なスポーツイベントの誘致・開催による「スポーツの聖地宮崎」としてのブランド力向上を図ります。
 - ・ スポーツキャンプ・合宿及びスポーツイベントの全県化・通年化・多様化により、経済効果の波及を図ります。
 - ・ 本県ならではの快適な環境を生かしたゴルフやサーフィン、サイクリングなど、「する」スポーツによるスポーツツーリズムを推進します。
- スポーツ環境の整備
 - ・ 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会に向けた取組を通して、市町村やスポーツ競技団体と連携しながら、地域スポーツの普及・振興を図ります。
 - ・ 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会に向けた着実な準備を進めるとともに、現有スポーツ施設の適切な維持管理やその利用促進を図ります。
 - ・ 屋外型トレーニングセンターなど、トップアスリートに対応可能なトレーニング環境を整え、全国レベルの大会にも対応したスポーツ施設の整備促進を図ります。
 - ・ スポーツメディカルをはじめとしたスポーツキャンプ・合宿の受入体制の充実・強化を図ります。

4 国スポ・障スポ大会に向けた競技力向上

内 容

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会を見据え、全県を挙げた組織体制の整備・強化やアスリート雇用の受け皿づくりを進めるとともに、選手の発掘・育成・強化や一貫指導體制の確立、優秀指導者の養成・確保、環境条件の整備などの取組を推進することにより、全国大会や国際大会で活躍できるトップアスリートを育成します。

主な取組

- 推進体制の整備・充実
 - ・ 競技力向上対策を効果的に実施するために必要となる、全県を挙げた組織体制の整備・充実を図るため、アスリートの雇用の受け皿づくりや会場地市町村、競技団体、学校体育団体との連携強化を進めます。
 - ・ 障がい者スポーツに関わる支援者等の確保や一般スポーツ競技団体と連携した取組を推進するとともに、競技種目の特性や障がい種別に配慮した支援や個に応じた幅広い支援に取り組めます。
- 選手の発掘・育成・強化
 - ・ 本県選手団の更なる強化を図るため、第81回国民スポーツ大会開催時に少年・成年種別の主力となる世代の強化や、未普及協議の育成・強化、有望選手の確保などの取組を推進し、全国大会や国際大会で活躍できるトップアスリートを育成します。
 - ・ 第26回全国障害者スポーツ大会に向け、児童生徒や社会人を対象とした体験会や競技会を定期的開催し、選手の発掘・育成を図り、大会後も継続してスポーツに取り組む選手・指導者及び持続可能なチームづくりを進めます。

- 指導体制の充実・強化
 - ・ ジュニアから成年までの一貫した指導体制を確立するため、優秀指導者の確保や指導者間のネットワークの構築、全国トップレベルの指導者を招へいするなどの取組を推進し、指導体制の充実・強化を図ります。
 - ・ 第26回全国障害者スポーツ大会に向け、障がい者スポーツ指導者を大会や研修会等へ派遣し、指導力の向上を図る取組を推進します。
- 環境条件の整備
 - ・ 競技力向上対策を効果的に進めるため、スポーツ医・科学サポートや、体育施設・競技用具の整備などの取組を推進し、練習環境の整備・充実を図ります。
 - ・ 障がい者スポーツに係るネットワーク化の充実や活動拠点・用具の整備・拡充など、障がい者スポーツの環境整備を進めます。

5 学校体育の推進

内 容

生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを継続する資質・能力を育成するため、体育・保健体育の授業の充実を図るとともに、学校における体力づくりの推進及び運動部活動の適切な運営に向けた取組の充実を図ります。

主な取組

- 体育・保健体育の授業の充実
 - ・ 体育・保健体育の授業の充実を図るため、小学校体育専科教員の配置や体育振興指導教員の派遣等の取組を推進します。
 - ・ 各学校の体育主任及び保健体育担当責任者等を対象とした研修会や県内の教員等を対象とした指導者養成研修会、授業研究会を開催し、体育・保健体育の授業の充実を図ります。
- 学校における体力づくりの推進
 - ・ 児童生徒が楽しいと感じ、意欲的に活動する体育・保健体育の授業実践を通して、体力を高めるための取組を推進します。
 - ・ 児童生徒の体力の向上を図るために、各学校が作成した体力向上プランに基づく計画的な授業づくりや授業外における実践、体力づくり優良校の表彰などの取組を推進します。
- 運動部活動の適切な運営
 - ・ 成長期にある生徒が、運動、食事、休養及び睡眠のバランスの取れた生活を送ることができるよう、部活動の適切な活動時間及び休養日の設定を行い、合理的でかつ効果的な活動を推進します。

6 健康教育・食育の推進

内 容

健康に関する知識を身に付け、生涯にわたって主体的に健康な生活を実践することのできる資質や能力を育成するため、家庭や地域、医療機関などと連携しながら、学校における健康教育の充実を図ります。また、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付け、生涯にわたって健やかな心身を育むため、家庭や地域などと連携しながら、食に関する指導の充実に取り組みます。

主な取組

- 健康教育の推進
 - ・ 性に関する指導やがん教育などに関して、学習指導要領に基づき、学校教育活動全体を通じた体系的な保健教育のための資料を作成します。
 - ・ 各学校に専門医を派遣するとともに、性に関する相談窓口を設置することにより、児童生徒が抱える健康課題に対して、児童生徒のほか保護者や教職員が個別に対応できる体制づくりを進めます。
- 食育の推進
 - ・ 栄養教諭等を中心とした食に関する指導の推進体制を整備するとともに、食育に関するモデル校を指定し、実践研究を促進します。
 - ・ 食への関心・意欲、食に対する感謝の気持ちや実践力を高めるために、家庭・地域等との連携を図り、「みやぎき弁当の日」を含めた様々な取組を推進します。
 - ・ 食生活における現状を知り、改善策を学び、実践するためのイベントを開催し、肥満や偏食等の食に関する健康問題の解決に取り組みます。

宮崎県スポーツ推進審議会

1 宮崎県スポーツ推進審議会審議（令和7年度）

開催日	審議事項等
令和7年 7月8日(火)	(1) 説明 ○ 令和7年度スポーツ推進審議会について (2) 協議 ア 協議前説明 ○ 宮崎県スポーツ推進計画について ・「施策10 幅広い世代でのスポーツの推進」 ・「施策11 児童生徒の健やかな体を育む体力・健康づくりの推進」 イ 協議 ○ 宮崎県スポーツ推進計画に基づく本県スポーツ推進の現状と課題について 「共生社会の実現に向けた本県スポーツの推進に関する現状と今後のあり方について」

※ 令和7年度より年1回の開催とし、必要に応じて書面決裁や臨時的に開催をする。

2 宮崎県スポーツ推進審議会委員（令和6・7年度）

区分	氏名	役職等
競技スポーツ	藤本 格	公益財団法人宮崎県スポーツ協会 専務理事
	高木 美里	宮崎県立高鍋高等学校教諭 女子ホッケー部顧問
	川野 美香子	都城市立小松原中学校教諭 ハンドボール部顧問
	木下 理	宮崎県障がい者スポーツ協会チャレンジドスポーツディレクター
生涯スポーツ	金川 敏洋	宮崎県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会会長
	岡本 真奈美	宮崎県スポーツ推進委員協議会 会長
	横山 幸子	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会 副会長兼常務理事
学校体育	山尾 典子	宮崎県高等学校体育連盟会長 宮崎県立宮崎南高等学校校長
	谷口 行孝	宮崎県中学校体育連盟会長 宮崎市立赤江中学校校長
	長尾 岳彦	宮崎県小学校体育連盟会長 宮崎市立赤江小学校校長
	玉城 美千子	宮崎県幼稚園連合会理事 学校法人みやぎ福祉学園あおぞら幼稚園園長
健康医科学	山口 奈美	宮崎大学医学部附属病院整形外科 講師
	松元 春香	医療法人岡田整形外科 理学療法士
	竹元 明子	南九州大学健康栄養学部管理栄養学科 准教授
学識経験者	米丸 麻貴生	三股町教育委員会教育長 宮崎県町村教育長会会長
	山本 順之	九州医療科学大学 教授
	飯塚 実	公益財団法人宮崎県観光協会 常務理事
	宮田 若菜	花ふぶき一座座長 都城市教育委員会委員
一般	遠坂 有太郎	公募による委員
	三好 佳奈芽	公募による委員